

ふれあい人権フェスタ

「猿舞座」来たる

筑豊大介さん、いっ平くん、純平くん

ふれあい人権フェスタ09年が11月21日、22日、ビッグ愛でひらかれた。近隣県からのべ11、600人も来場者が訪れ、大盛況のなかスタートした。今年、参加した団体は展示ブースに106、模擬店24と過去最高で、さまざまな人権問題について学習する機会となった。



県連展示ブース



筑豊大介さんと猿の純平くん

なつた。

被差別民の

芸能を紹介

県連では、被差別民が担ったさまざまな芸能をテーマに「被差別部落と芸能」と題して展示した。また、ビッグホールへの入口では、福岡県直方市で猿まわ



きた「本仕込み」(※1)という調教方法で猿まわし

しをおこなう「猿舞座」の筑豊大介さん、猿のいっ平くん、純平くんを運ぶ、昔から受け継がれて

をおこなった。「本仕込み」という調教方法で猿まわしをする芸人は全国で「猿舞座」(※2)一座のみ。2日間で6回の猿まわしが披露された。

真打、いっ平くん、子ども

キャッチボール!? 前座を務めた純平くんに変わり、いっ平くんは14歳と貫録のある姿で登場した。置かれた椅子に足を延ばし、袴をまとった姿に観客も大絶賛。背中に小さな赤ん坊の人形を背負って、やす「子守りの曲」では、背中の人形を観客に投げる場面も。観客の子どもが投げ返した人形でキャッチボールする、やんちゃぶりを発揮した。親方は「猿にと

ってストレスを分散させることも必要。逆に観客が喜んでくれるので、親方の許可で投げています」と微笑みながら語った。

(※1) 本仕込み・・・猿を叩いたり、首もとに咬みついて服従させる方法をとらず、猿と生活をしながら、互いの信頼関係を築き調教する方法をいう

(※2) 猿舞座・・・一度途絶えかけた猿まわしを復活させて全国を旅する一座。

78年「周防猿回しの会」を村崎修二さんの兄・義正さんと結成し、猿まわし



の復活をはじめ。82年には古来より受け継がれる本仕込みという調教方法による猿まわしの伝承のために、仲間と「猿舞座」を結成する。座長・村崎修二、若頭・村崎耕平

昨年、衆議院選挙において憲政史上はじめての政権交代がおこなわれた年であった。民主党中心の連立政権が生まれ、早4カ月が経過し、政権交代によって私たちがすすめる「人権」「平和」「環境」に一定の前進が期待できる。しかし、これらの運動も開いては成り果たない。さらなる運動の強化が求められる。

主張

2010年の初頭に

部落解放運動の前進を!

現況調査(実態調査)結果報告がおこなわれ、部落の実態が不十分ながらも明らかにされた。依然として、仕事・教育・生活に大きな課題が山積し、これらの課題解決に向けた施策が強く求められる。

また、新規採用者の内定取り消しもおこなわれ、雇用環境はますます不安定になっていく。このようななか、私たち部落の労働者は、未だに不安定就労を余儀なくされ、厳しい生活実態は改善されるどころかますます

不安定な経済状況が続くなかでも、私たちの運動は歩みを止めることなく進まなければならない。民主党を中心とした政権が生まれ、本年は参議院選挙に中央本部書記長「松岡とおる」を組織内候補として2期目の闘いが控えている。必勝のため、組織の総力をあげて闘わなければならない。



いっ平くん

書籍紹介

マンガ「ツレがうつになりました」

コンピューター会社で働くツレ(夫)。リストラの対象から外れ、「期待されている」と喜ぶも、人員削減で残業や休日出勤がつづく。ある日「死にたい」と言い出したツレに出された診断は「うつ病」だった。うつ病と闘うツレに対して、どう接していいかわからない結さん(著者)は、日々変化するうつ病を「宇宙病」と呼ぶ。闘病夫を愛とユーモアで支える妻のコミックエッセイ。著者: 結川結々 出版: 幻冬舎 価格: 1155円



●注文・お問い合わせは県連まで
TEL 073(473)2301 FAX 073(473)2302